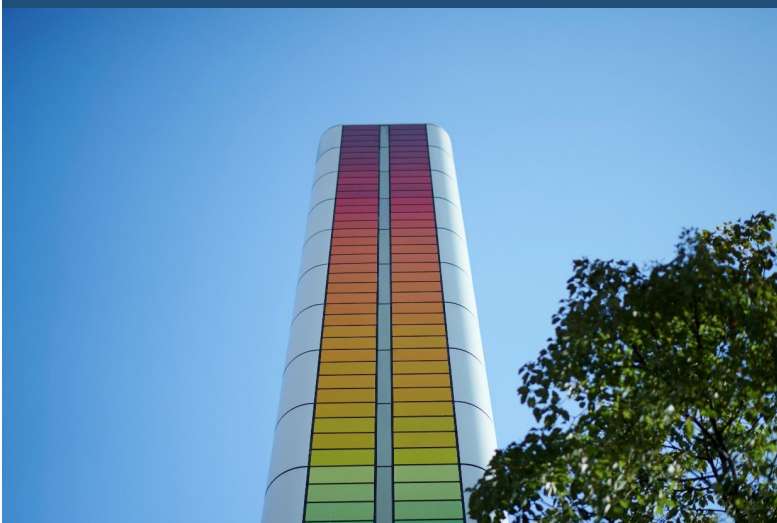




京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

令和8年度入試情報 (令和9年度入学者向け)



〈 Information 〉

■ 学生募集要項等のホームページ掲載時期

大学案内	掲載中	入学者選抜要項	7月下旬
私費外国人留学生入試学生募集要項	掲載中	学校推薦型選抜学生募集要項	7月下旬
ダビンチ入試（総合型選抜）学生募集要項	6月下旬	一般選抜学生募集要項	9月下旬

学生募集要項は、各入試の上記掲載時期以降にホームページでご確認ください。

URL : https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php



目次

○京都工芸繊維大学 入試概要	1
令和9年度募集人員（1年次生）	
令和9年度入試スケジュール	
○一般選抜について	4
令和9年度一般選抜教科・科目等別配点	
令和9年度一般選抜実施教科・科目等	
○学校推薦型選抜について	6
令和9年度学校推薦型選抜教科・科目等別配点	
○ダビンチ入試（総合型選抜）について	8
令和9年度入試の選抜方法	
○地域創生Tech Programについて	11
○令和8年度入試結果	
入学者選抜実施状況（志願者数・受験者数・合格者数等）	12
実質倍率の推移（令和6・7・8年度）	14
一般選抜 合格者最高点・最低点・平均点	15
志願者・入学者の男女比、現浪比	16
地区別志願・入学状況	17
○各種情報	
課程	18
教育内容について	
入学後の転課程について	
京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	18
卒業生・修了生の進路	19
取得できる資格	19
過去の入試問題	19
大学を知るためのイベント等	19
大学の見学について	
進学ガイダンスについて	
オープンキャンパスについて	
その他大学を知るためのイベントについて	
学生生活	20
入学料・授業料について	
授業料免除や奨学金等の制度について	
他大学との単位互換制度について	
学習用ノートパソコンの必携について	
国際交流について	
大学の施設について	
住まいについて	
課外活動	
学生と教員の共同プロジェクト	

■令和9年度入試日程表（令和9年4月入学者用）

■京都工芸繊維大学（松ヶ崎キャンパス）への交通案内

京都工芸繊維大学 入試概要

令和9年4月に1年次生として入学する人の選抜は、次の方法で行います。

一般選抜

一般選抜のアドミッションポリシー（各課程の選抜の方針・ポリシーや求める能力・適性）に基づき、大学入学共通テスト及び本学が行う教科・科目に係る個別テスト等の成績、調査書の内容により、出願者の能力・適性等を総合して判定します。
※「後期日程」での学生募集はありません。

大学入学共通テスト
(6教科8科目)



教科・科目に係る
個別テスト等
(3教科)

詳細は4ページへ

学校推薦型選抜

学校推薦型選抜のアドミッションポリシーに基づき、大学入学共通テスト及び提出された出願書類の内容等を総合して、合否判定を行います。

大学入学共通テスト
(6教科8科目)

出願書類

- 志望理由書
(志願者が作成)
- 推薦書
(出身学校長が作成)
- 調査書
(出身学校が作成)

詳細は6ページへ

ダビンチ入試 (総合型選抜)

ダビンチ入試のアドミッションポリシーに基づき、大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等を課さず、出願書類とスクーリングにより、個人の資質・能力を総合評価して判定します。

出願書類
(志望理由書・調査書)



第1次選考
(スクーリング)



最終選考
(スクーリング)

詳細は8ページへ

特別入試

私費外国人留学生入試

私費により本学に入学を希望する外国人を対象として、日本留学試験、TOEFL及び本学が行う小論文・面接によって、入学者を選抜します。

京都工芸繊維大学では
インターネット出願を導入しています



●令和9年度募集人員（1年次生）

－ Topics －（今年度の主な変更点）

- ・情報工学課程の入学定員を61名から71名に増員します！
（現在文部科学省に申請中の計画であり、今後、計画内容に変更がある場合があります。）
- ・デザイン・建築学課程において、建築コース、デザインコース別に学生を募集します！
（出願時にコースを選択いただきます。）

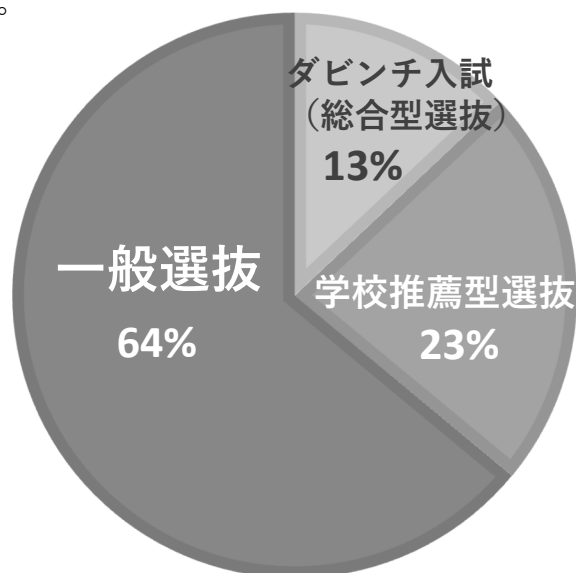
課程	合計	一般プログラム						地域創生Tech Program					
		小計	一般選抜	ダビンチ入試 (総合型選抜)		学校 推薦型 選抜	特別 入試 私費 外国人 留学生	小計	一般 選抜 前期 日程	ダビンチ入試 (総合型選抜)			学校 推薦型 選抜
				一般	グロー バル					一般	地域	社会人	
応用生物学課程	50	48	25	7	1	15	若干名	2	若干名	1		若干名	1
応用化学課程	169	166	115	6	3	42	若干名	3	若干名	2		若干名	1
電子システム工学課程	61	58	34	5	1	18	若干名	3	若干名	2		若干名	1
情報工学課程	71※	68※	44※	5	1	18※	若干名	3	若干名	2		若干名	1
機械工学課程	86	83	58	4	1	20	若干名	3	若干名	2		若干名	1
デザイン・ 建築学課程	156	92	65	15	2	10	若干名	5	若干名	3	1	若干名	1
		56	40	9	1	6	若干名	3	若干名	1	1	若干名	1
合計	593	571	381	51	10	129	－	22	－	合わせて15			7

※ 情報工学課程の入学定員等は、現在文部科学省に申請中の計画であり、今後、計画内容に変更がある場合があります。

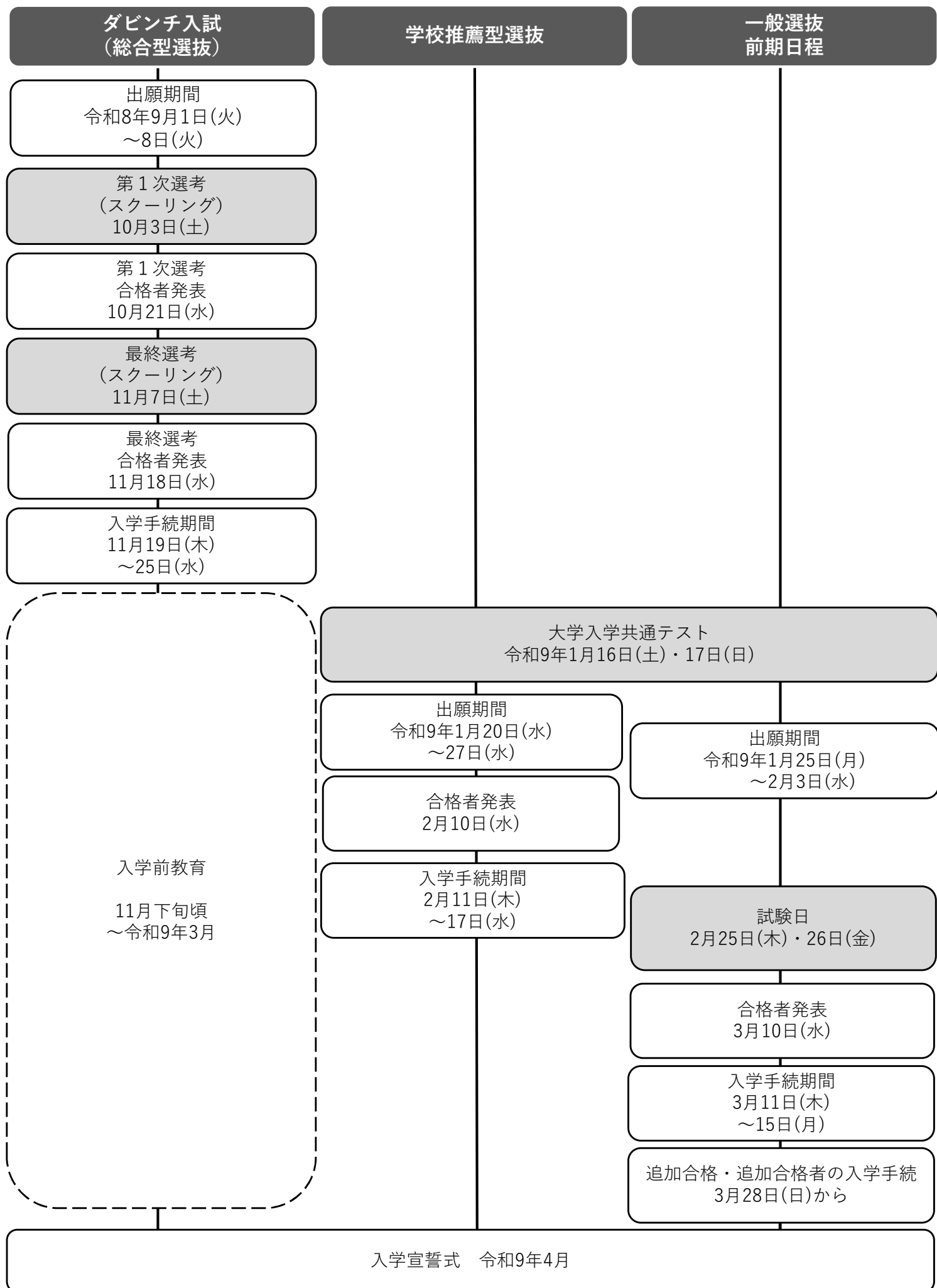
※ 募集人員の取り扱い等については、各学生募集要項で確認してください。

入試種別ごとの募集人員に占める割合

京都工芸繊維大学では、学部全体の募集人員の64%を一般選抜が占め、基礎学力を重視するとともに、総合型・学校推薦型選抜の募集人員を拡大する等、より多くの受験生にチャンスが開かれた入試制度となっています。



●令和9年度入試スケジュール ※必ず、学生募集要項・ホームページ等で最新の情報を確認してください。



一般選抜について

●一般選抜(前期日程)における一般プログラムと地域創生Tech Programについて

一般選抜(前期日程)では、出願時に一般プログラムと地域創生Tech Programから、志望するプログラムを選択します。第1志望で地域創生Tech Programを選択した場合に限り、第2志望で同一課程の一般プログラムを選択することができます。

地域創生Tech Programの詳細については、11ページをご覧ください。

※選択しなかったプログラムで合格することはありません。

※第2志望を選択した場合、選抜の結果、第2志望のプログラムで合格することがあります。

※出願書類についての留意事項

地域創生Tech Programと一般プログラムを併願する場合でも、必要な調査書等は1通です。

●選抜方法について

一般選抜(前期日程)では、大学入学共通テストと本学が行う教科・科目に係る個別テスト等の受験が必要です。

大学入学共通テストにおいて次ページの教科・科目を1つでも受験していない場合は、出願無資格者となり、教科・科目に係る個別テスト等を受験することができませんので、十分注意してください。

●デザイン・建築学課程の総合問題について

複数の教科を総合して学力を判定する総合的な問題です。

提示されたデザイン・建築・ビジネス・テクノロジーに関する課題に対して、創造力・構成力・描画力及びそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。

近年の前期日程における総合問題では、図画の問題も出題される傾向にあります。本学の図画の特徴は、実際にモノを見て描くのではなく、文章を読んで想像し、アイデアを練って描写するところです。描画力(デッサン力)だけでなく、発想(アイデア)の豊かさ、構成の面白さなどを総合して評価します。

いわゆる美大の試験のようにデッサンの能力だけを問う問題ではありませんが、自分が伝えたいことを表現できるよう、基本的な技法は練習すると良いかもしれません。

※出題内容は変更になる場合がありますので、留意してください。

●令和9年度一般選抜教科・科目等別配点

一般選抜(前期日程)

課程	大学入学共通テスト								教科・科目に係る個別テスト等					合計		
	国語	地理歴史・公民	数学		理科	外国語	情報	小計	数学	理科			英語		総合問題	小計
			数Ⅰ・数A	数Ⅱ・数B・数C						生物	化学	物理				
応用生物学課程	75	25	50	50	2科目各50	100	25	425	200	2科目 各200			200		800	1,225
応用化学課程	100	50	50	50	2科目各50	100	25	475	200		1科目 200		200		600	1,075
電子システム工学課程	100	50	50	50	2科目各50	100	25	475	300			200	200		700	1,175
情報工学課程	100	50	50	50	2科目各50	100	25	475	300			200	200		700	1,175
機械工学課程	100	50	50	50	2科目各50	100	25	475	300			200	200		700	1,175
デザイン・建築学課程(建築コース)	50	50	50	50	2科目各50	100	25	425	200				200	200	600	1,025
デザイン・建築学課程(デザインコース)	50	50	50	50	2科目各50	100	25	425	200				200	200	600	1,025

※後期日程での募集はありません

令和9年度一般選抜実施教科・科目等

受験を要する教科・科目等		大学入学共通テストの利用教科・科目		教科・科目に係る個別テスト等	
日程、学域、課程名					
前期日程	応用生物学	国語	国語	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 「物理基礎、物理」、 「化学基礎、化学」、 「生物基礎、生物」
		地理歴史・公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」		
	応用生物学課程	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数Ⅱ、数学B、数学C」	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	物理	物理、化学、生物から2			
	外国語	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	情報Ⅰ	(6教科8科目)	
情報	情報Ⅰ				
物質・材料科学域	応用化学課程	国語	国語	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 「物理基礎、物理」又は「化学基礎、化学」
		地理歴史・公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」		
電子システム工学課程	電子システム工学課程	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数Ⅱ、数学B、数学C」	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
		物理	物理と「化学、生物、地学から1」		
情報工学課程	情報工学課程	外国語	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	情報Ⅰ	(6教科8科目)
		情報	情報Ⅰ		
機械工学課程	機械工学課程	国語	国語	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C 物理基礎、物理
		地理歴史・公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」		
デザイン学域	デザイン・建築学課程 (建築コース、 デザインコース)	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数Ⅱ、数学B、数学C」	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
		物理	物理、化学、生物、地学から2		
外国語	デザイン学域	外国語	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	総合問題	※下記注意事項「○教科・科目に係る個別テスト等について」2参照
		情報	情報Ⅰ		
後期日程	後期日程での学生募集はありません				

注意事項

○英語民間試験について

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

○大学入学共通テストについて

1. 段階表示について

出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。

2. 地理歴史・公民について

大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から1科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第1解答科目の得点を採用します。

3. 外国語

英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を160点満点、リスニングの得点を40点満点にそれぞれ換算の上合計し、学生募集要項で定める各課程の配点に換算します。なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりません。その場合、リスニングテストの点数を0点とします。また、リスニング免除者については、リーディングの得点を200点満点に換算の上、学生募集要項で定める各課程の配点に換算します。

○教科・科目に係る個別テスト等について

1. 数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」、「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

2. 総合問題

提示されたデザイン・建築・ビジネス・テクノロジーに関する課題に対して、創造力、構成力、描画力及びそれらの総合力、並びに自分の考えをまとめる能力を評価します。

学校推薦型選抜について

●学校推薦型選抜の出願資格について

一般プログラムの出願資格は、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和9年3月31日までに卒業見込みの人で、学校長が、学校推薦型選抜<一般プログラム>のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦でき、合格した場合は入学を確約できる人です。

地域創生Tech Programの出願資格は、出願時に、京都府下に所在地を置く高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和9年3月31日までに卒業見込みの人、又は出願時に、京都府内に在住し、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和9年3月31日までに卒業見込みの人で、学校長が、学校推薦型選抜<地域創生Tech Program>のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦でき、合格した場合は入学を確約できる人です。

なお、両プログラムとも課程によっては「数学III」を履修していることが必要となります。
詳しくは、募集要項で確認してください。

●学校推薦型選抜の特徴

①一般プログラムは、学校長の推薦があれば、誰でも出願できます

学校ごとの人数制限はありません。

全体の学習成績の状況（評定平均値）による制限はありません。

なお、地域創生Tech Programは、上記のとおり京都府内の人に限定しています。

②大学入学共通テスト受験後に出願できます

③一般選抜と併願ができます

大学入学共通テストの科目は一般選抜（前期日程）と同じですので、併願することで、勉強の負担を増やさずに複数回のチャレンジが可能です。

また、ダビンチ入試を受験し不合格になった人であっても出願できます。

④大学入学共通テストと出願書類で合否判定を行います

面接や小論文、学力試験等は実施せず、大学入学共通テストと提出された出願書類の内容等を総合して、合否判定を行います。受験のために大学へ行く必要はありません。

⑤一般選抜に次いで募集人員の多い入試です

●学校推薦型選抜の出願書類について

志望理由書（志願者が作成する書類）

〈A4用紙1枚目〉

本学・志望課程を志望する理由を記載します。

〈A4用紙2枚目〉

入学後に学びたいことや将来のビジョンを記載します。

推薦書（出身学校長が作成する書類）

推薦する理由や評価について評価します。

調査書（出身学校が作成する書類）

高校での様子や学習の状況について評価します。

●令和9年度学校推薦型選抜教科・科目等別配点

一般プログラム

課 程		大学入学共通テスト						出願書類	
		国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報		計
応用生物学課程		200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	合否判定 に活用
応用化学課程		200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	
電子システム工学課程		100	50	2科目 各100	2科目 物理200 その他100	200	50	900	
情報工学課程		200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	100	1000	
機械工学課程		200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	
デザイン・ 建築学課程	建築 コース	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	
	デザイン コース	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	

地域創生Tech Program

課 程		大学入学共通テスト						出願書類	
		国語	地理歴史 ・公民	数学	理科	外国語	情報		計
応用生物学課程		200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	合否判定 に活用
応用化学課程		200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	
電子システム工学課程		100	50	2科目 各100	2科目 物理150 その他100	200	50	850	
情報工学課程		100	50	2科目 各100	2科目 各100	200	100	850	
機械工学課程		100	50	2科目 各100	2科目 各100	200	50	800	
デザイン・ 建築学課程	建築 コース	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	
	デザイン コース	200	100	2科目 各100	2科目 各100	200	50	950	

ダビンチ入試（総合型選抜）について

●ダビンチ入試（総合型選抜）とは？

本学は、京都発の先鋭的な国際的工科大 Kyoto Institute of Technology として、これまでにない新しい発想や価値の創造の実現を目指しています。その使命に挑戦する人材を発掘する入試制度として、総合型選抜を実施しています。これを本学では『ダビンチ入試』と呼んでいます。

『ダビンチ入試』の名称は、画家・彫刻家・建築家として多くの不朽の作品を残し、また自然科学者・技術者としても多くの優れた業績をあげた、イタリアのレオナルド・ダ・ビンチ (Leonardo da Vinci: 1452-1519) に因んだものであり、“知性と感性”、すなわち本学が求めたい資質の象徴としてイメージしたものです。

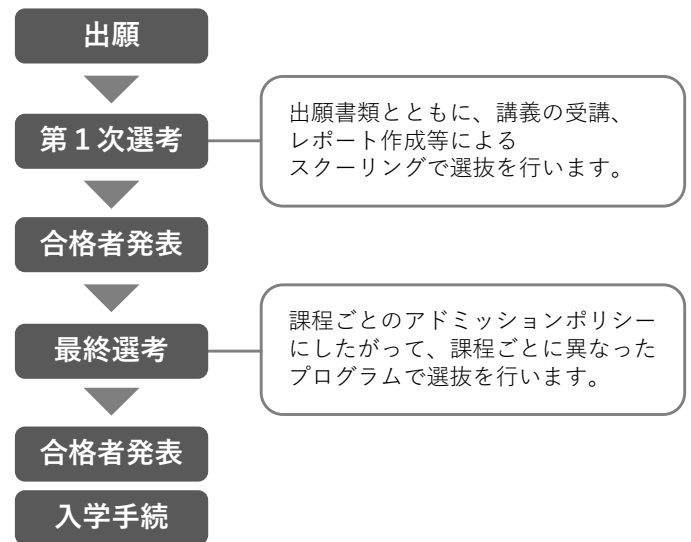
21世紀の科学技術創造を担おうとする意欲のある人、チャレンジ精神旺盛で行動力のある人、本学での教育を強く望まれる多くの人々に応募していただきたい入試です。

●ダビンチ入試（総合型選抜）の概要

一言で言うと、意欲や表現力、論理的思考力などに優れていて、各課程への適性が高い人を丁寧なプログラムで選抜する入試です。

一般に行われている総合型選抜では、学校推薦型選抜と同様に小論文・面接が中心ですが、ダビンチ入試はそれだけではありません。講義又は課題提示を受けてのレポート作成やグループディスカッション、プレゼンテーションといった多様なプログラムによるスクリーニングが行われます。その内容はアドミッションポリシーにしたがって、工夫されたものです。

ダビンチ入試そのものが、体験入学のようなプログラムになっているのが特徴です。



●ダビンチ入試（総合型選抜）の特徴

①大学入学共通テストを免除します

11月中に合否が決まりますので、大学入学共通テストを受験する必要はありません。

②個別学力試験を免除します

第1次選考、最終選考とも教科・科目型の学力試験は行いません。出願書類と、レポート作成やグループディスカッションなどのスクリーニングのプログラムにより選考します。

③丁寧で、満足度の高い、本学独自の選抜方法です

第1次選考では、出願書類と、本学で行うスクリーニングで総合評価します。第1次選考を合格した受験生に対して行う最終選考では、課程別にスクリーニングを行います。

④入学前教育を行います

11月の合格者発表から入学までの約4ヶ月間、入学前教育を行います。この期間に月1回程度の添削課題提出とスクリーニングがあり、さらに先輩学生との交流で大学生に変身する時間と機会を設けています。

●一般プログラム【グローバル】について

一般プログラムには、意欲のある志願者を広く求める【一般】区分と、国際バカロレア資格取得（見込）者で本学が指定する科目、成績を修めた人を対象とした【グローバル】区分があります。

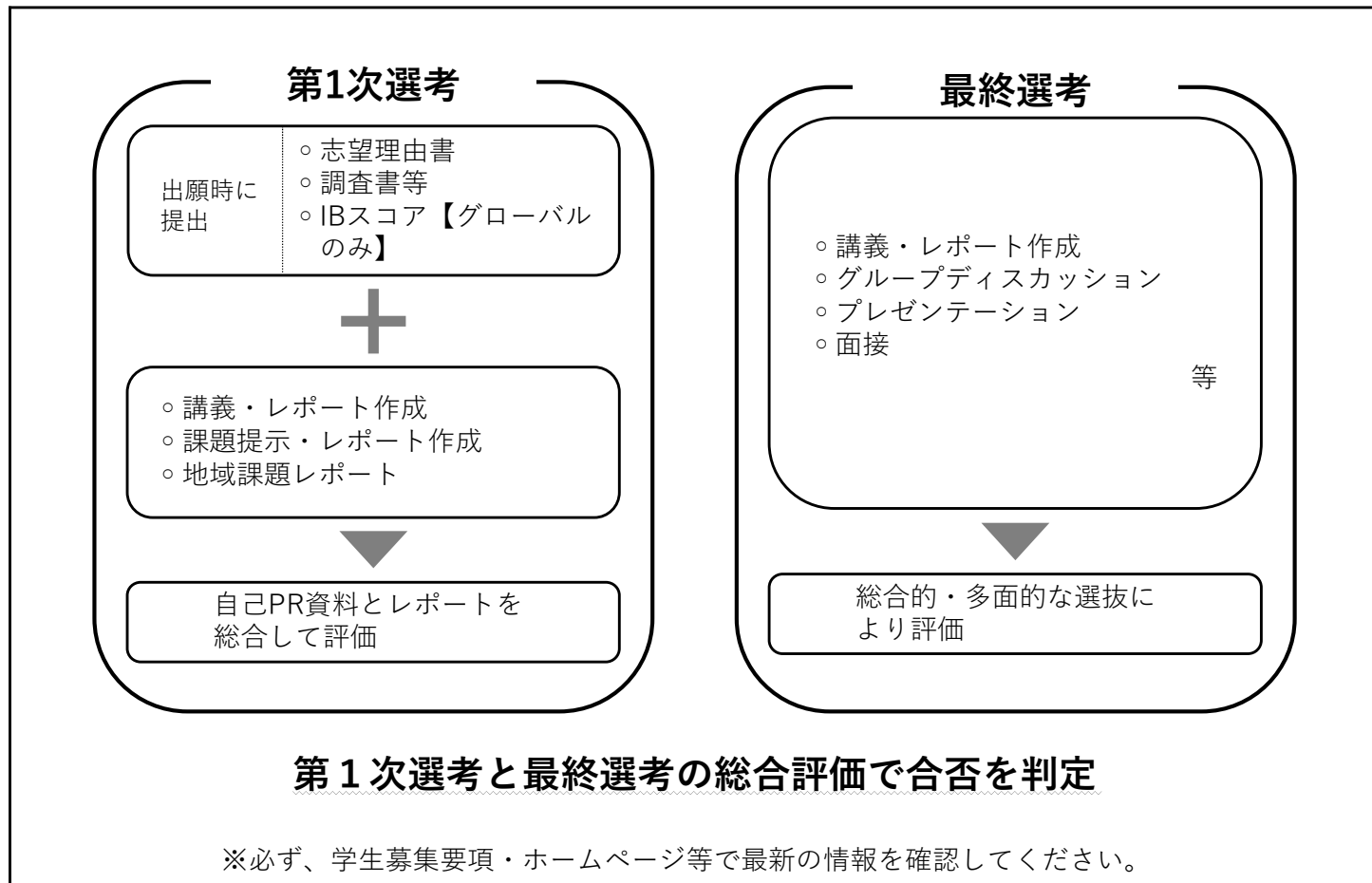
【グローバル】の第1次選考においては、応用化学課程を除き、IBスコア等の出願書類を用いて評価を行うことから、受験のために大学へ行く必要はありません。

※詳細は下記URL及び募集要項で確認してください。

https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/gakubu/R09_ao_global.pdf



●令和9年度入試の選抜方法



第1次選考

志望理由書（志願者が作成する書類）

〈A4用紙1枚目〉

これまでの振り返り（今まで頑張ってきたこと、学校内・学校外での活動）から、動機や得られたものを記載します。資格や受賞歴は必須ではありません。

〈A4用紙2枚目〉

振り返りから現在の自分を分析し、本学・志望課程に関心を持った理由とともに、入学後に学びたいことを記載します。

→今までの自分を見つめ直す！

→将来のビジョンを描く！これからの自分について書く！

調査書等（出身学校が作成する書類）

高校での様子や学習の状況について評価します。

IBスコア（【グローバルのみ】）

〈午前〉

- 一般プログラム【一般】
- 一般プログラム【グローバル（応用化学課程のみ）】
- 地域創生Tech Program

講義・レポート作成（学域ごとに実施）
講義資料にメモを取り、それを見て解答してよい。



〈午後〉

- 一般プログラム【一般】：課題提示・レポート作成
- 地域創生Tech Program：地域課題レポート

最終選考

応用生物学課程

- 面接

応用化学課程

- 面接・口頭試問

電子システム工学課程

- 面接・口頭試問

情報工学課程

- 講義・レポート作成
- 課題提示・グループディスカッション

機械工学課程

- 課題提示・プレゼンテーション

デザイン・建築学課程

- プレゼンテーション
- 課題提示・グループディスカッション

最終選考は課程ごとに実施します。

一般、グローバル、地域創生Tech Programの区分に関わらず同じ内容です。

●ダビンチ カレッジ・レディネス プログラム（入学前教育）について

ダビンチ入試の合格者が入学手続をしてから入学までの約4ヶ月間、高校生から大学生に向けた、高大トランジションプログラムを用意しています。高校までの基礎学力の補填だけでなく、入学後も定着して大学教育を遂行できるように、またスムーズに大学生活が送れるよう、大学生としての「カレッジ・レディネス」の醸成となるプログラムを実施しています。

本プログラムへの参加により、

- 文章構成力（作文力）スキルの向上
- 英語読解力スキルの向上
- 数学基礎力の向上
- 物理基礎力の向上
- 大学での学習スキルの修得
- 大学における専門教育への導入
- 大学での学習生活の不安解消

を目指します。

参加者からは「入学までの期間を有意義に過ごせた」「プログラムから学ぶことが多く、大学生活が楽しみになった」「どのプログラムも大学生になった時、役立つもので、高校から大学に移行する期間に丁寧に作られたプログラムが受講できてよかった」という声が挙がっています。大学での学修に向けて、準備を効果的に進めることができるので、是非積極的に参加してください。

主なプログラム（11月～3月）

- 入学前オリエンテーション
- 通信添削課題：文章表現・英語・数学・物理（月1回程度）
- 理工学基礎講座
- グループワーク実践講座
- 英語e-ラーニング
- 学習相談会
- 学生交流会

※プログラム内容は、変更になる場合があります。

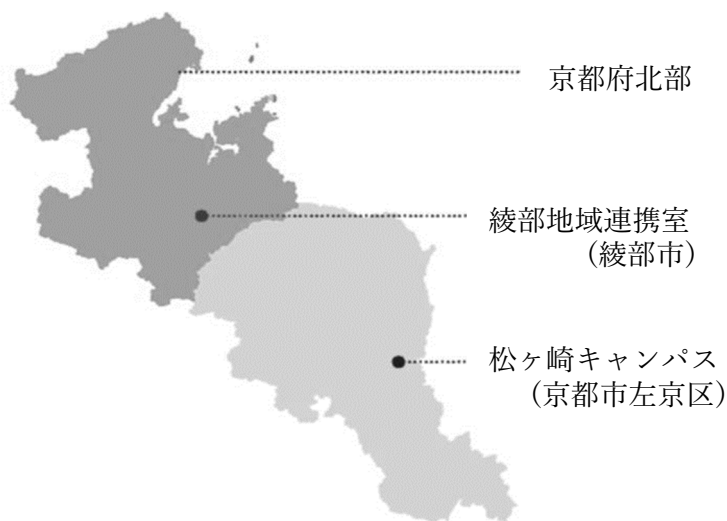
地域創生Tech Programについて

地域創生Tech Programは、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設されたプログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、入学から3年次前学期までは京都市の松ヶ崎キャンパスで開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身につけます。

3年次後学期には京都府北部を拠点として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組めます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。



※入学試験の試験場は、京都市の松ヶ崎キャンパスです。

※単位の修得状況によっては、京都府北部で地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップに取り組む時期が3年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生Tech Program以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

※入学後は地域創生Tech Programから同一課程の一般プログラムに3年次編入学することはできません。

もっと知りたい方は、地域創生Tech Programホームページをご覧ください。

URL : <https://www.techprogram.kit.ac.jp/>



令和8年度入試結果

●入学者選抜実施状況（志願者数・受験者数・合格者数等）

- 志願倍率 = 志願者数 / 募集人員
- 受験倍率 = 受験者数 / 募集人員
- 実質倍率 = 受験者数 / 合格者数（追加合格者数を含む）

一般選抜（前期日程）

学 域	課 程	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	うち 地域創生 Tech Program 合格者数	うち追加 合格者数	実質倍率	入学者数
応用生物学域	応用生物学課程	25	101	4.0	86	3.4	27	0	0	3.2	26
物質・材料科学域	応用化学課程	115	383	3.3	340	3.0	121	1	0	2.8	120
設計工学域	電子システム工学課程	34	143	4.2	129	3.8	42	1	0	3.1	42
	情報工学課程	38	155	4.1	141	3.7	42	1	0	3.4	42
	機械工学課程	58	274	4.7	246	4.2	60	0	0	4.1	59
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	105	450	4.3	425	4.0	108	0	0	3.9	107
一般選抜（前期日程） 合計		375	1,506	4.0	1,367	3.6	400	3	0	3.4	396

※合格者数には、地域創生Tech Programの3名が含まれます。

学校推薦型選抜<一般プログラム>

学 域	課 程	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
応用生物学域	応用生物学課程	15	30	2.0	30	2.0	15	2.0	15
物質・材料科学域	応用化学課程	42	102	2.4	102	2.4	42	2.4	42
設計工学域	電子システム工学課程	18	35	1.9	35	1.9	16	2.2	16
	情報工学課程	14	79	5.6	79	5.6	14	5.6	14
	機械工学課程	20	80	4.0	80	4.0	20	4.0	20
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	10	154	15.4	154	15.4	10	15.4	10
学校推薦型選抜<一般プログラム> 合計		119	480	4.0	480	4.0	117	4.1	117

学校推薦型選抜<地域創生Tech Program>

学 域	課 程	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
応用生物学域	応用生物学課程	1	2	2.0	2	2.0	1	2.0	1
物質・材料科学域	応用化学課程	1	2	2.0	2	2.0	0	-	0
設計工学域	電子システム工学課程	※ 3	0	-	0	-	-	-	-
	情報工学課程	※ 2	4	2.0	4	2.0	1	4.0	1
	機械工学課程	1	3	3.0	3	3.0	1	3.0	1
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	2	9	4.5	9	4.5	2	4.5	2
学校推薦型選抜<地域創生Tech Program> 合計		※10	20	2.0	20	2.0	5	4.0	5

※学校推薦型選抜<地域創生Tech Program>の募集人員は、ダビンチ入試（総合型選抜）における地域創生Tech Programの欠員3名が含まれます。

学校推薦型選抜 合計		募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
		※129	500	3.9	500	3.9	122	4.1	122

ダビンチ入試<一般プログラム>

学 域	課 程	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
応用生物学域	応用生物学課程	7	18	2.6	18	2.6	7	2.6	7
物質・材料科学域	応用化学課程	6	30	5.0	29	4.8	9	3.2	9
設計工学域	電子システム工学課程	5	15	3.0	15	3.0	6	2.5	6
	情報工学課程	5	35	7.0	35	7.0	5	7.0	5
	機械工学課程	4	26	6.5	26	6.5	5	5.2	5
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	30	205	6.8	202	6.7	30	6.7	30
一般プログラム【一般】 合計		57	329	5.8	325	5.7	62	5.2	62
応用生物学域	応用生物学課程	1	1	1.0	1	1.0	1	1.0	1
物質・材料科学域	応用化学課程	3	1	0.3	1	0.3	0	-	-
設計工学域	電子システム工学課程	1	1	1.0	1	1.0	0	-	-
	情報工学課程	1	4	4.0	4	4.0	0	-	-
	機械工学課程	1	1	1.0	1	1.0	0	-	-
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	3	4	1.3	4	1.3	2	2.0	2
一般プログラム【グローバル】 合計		10	12	1.2	12	1.2	3	4.0	3

ダビンチ入試<地域創生Tech Program>

学 域	課 程	募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
応用生物学域	応用生物学課程	※ 1	2	-	2	-	1	2.0	1
物質・材料科学域	応用化学課程	※ 2	2	-	2	-	1	2.0	1
設計工学域	電子システム工学課程	※ 2	0	-	-	-	-	-	-
	情報工学課程	※ 2	3	-	3	-	0	-	-
	機械工学課程	※ 2	4	-	4	-	2	2.0	2
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	4	15	3.8	15	3.8	3	5.0	3
地域創生Tech Program【一般】 合計		※ 13	26	2.0	26	2.0	7	3.7	7
応用生物学域	応用生物学課程	※ 1	1	-	1	-	0	-	-
物質・材料科学域	応用化学課程	※ 2	1	-	1	-	1	1.0	1
設計工学域	電子システム工学課程	※ 2	0	-	-	-	-	-	-
	情報工学課程	※ 2	2	-	2	-	1	2.0	1
	機械工学課程	※ 2	0	-	-	-	-	-	-
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	2	6	3.0	6	3.0	2	3.0	2
地域創生Tech Program【地域】 合計		※ 11	10	0.9	10	0.9	4	2.5	4
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	-	1	-	1	-	1	1.0	1
地域創生Tech Program【社会人】 合計		-	1	-	1	-	1	1.0	1

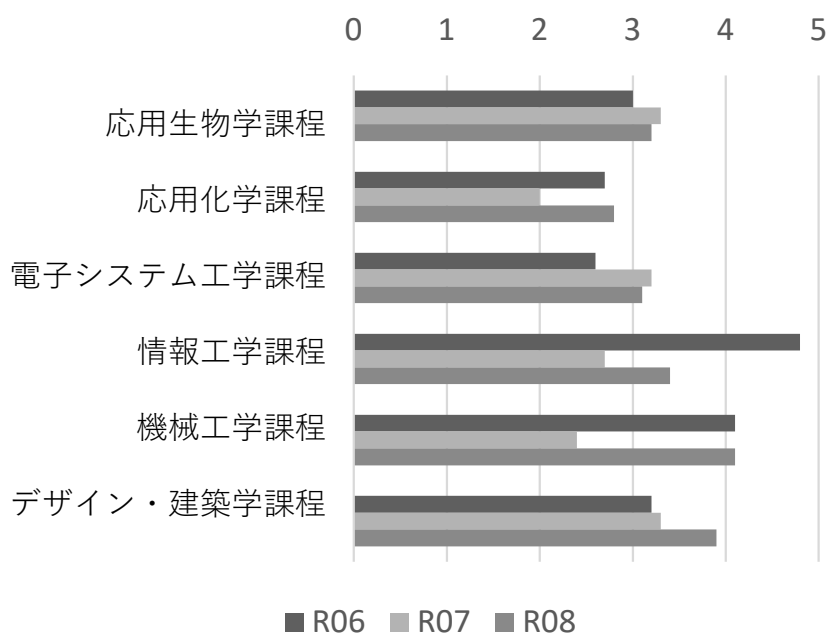
※デザイン・建築学課程を除き、【一般】と【地域】を合わせて募集します。工芸科学部全体では【一般】と【地域】合わせて15名募集します。

ダビンチ入試 合計		募集人員	出願者数	出願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	実質倍率	入学者数
		82	378	4.6	374	4.6	77	4.9	77

●実質倍率の推移（令和6・7・8年度）

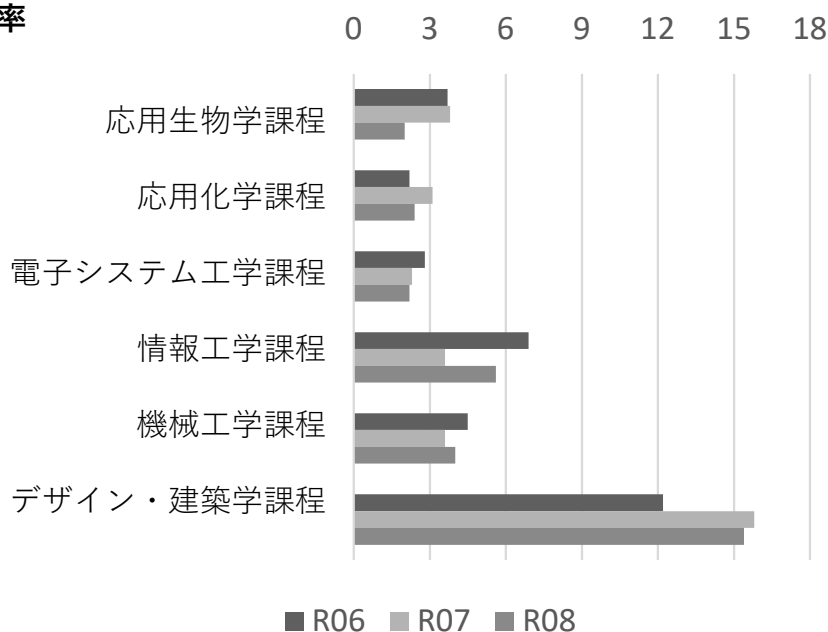
一般選抜前期日程 実質倍率

課程	R06	R07	R08
応用生物学課程	3.0	3.3	3.2
応用化学課程	2.7	2.0	2.8
電子システム工学課程	2.6	3.2	3.1
情報工学課程	4.8	2.7	3.4
機械工学課程	4.1	2.4	4.1
デザイン・建築学課程	3.2	3.3	3.9



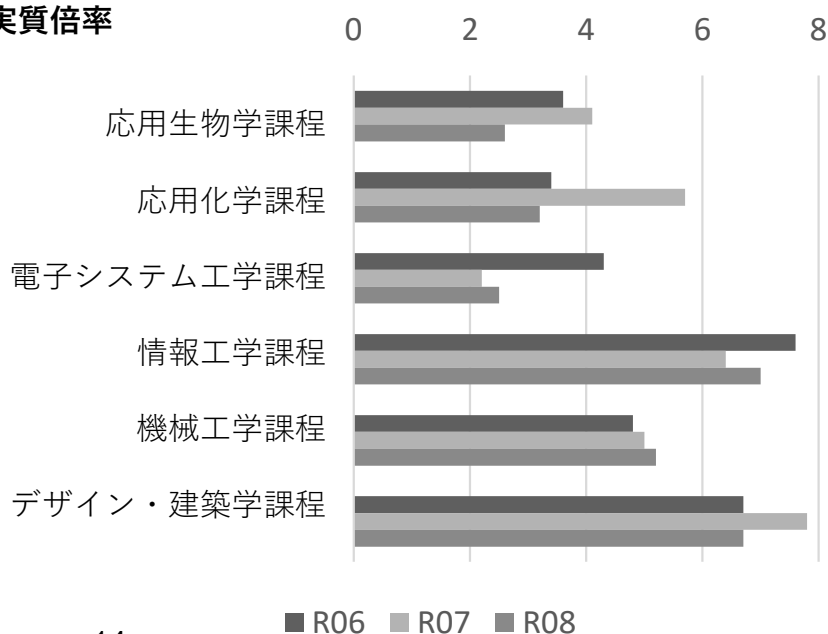
学校推薦型選抜<一般プログラム> 実質倍率

課程	R06	R07	R08
応用生物学課程	3.7	3.8	2.0
応用化学課程	2.2	3.1	2.4
電子システム工学課程	2.8	2.3	2.2
情報工学課程	6.9	3.6	5.6
機械工学課程	4.5	3.6	4.0
デザイン・建築学課程	12.2	15.8	15.4



ダビンチ入試<一般プログラム【一般】> 実質倍率

課程	R06	R07	R08
応用生物学課程	3.6	4.1	2.6
応用化学課程	3.4	5.7	3.2
電子システム工学課程	4.3	2.2	2.5
情報工学課程	7.6	6.4	7.0
機械工学課程	4.8	5.0	5.2
デザイン・建築学課程	6.7	7.8	6.7



●一般選抜 合格者最高点・最低点・平均点

日程	課程	配点 総合計	大学入学共通 テスト	個別 テスト等	総 点		
			配点	配点	最高点	最低点	平均点
前 期 日 程	応 用 生 物 学 課 程	1,225	425	800	834	735	765
					68.1%	60.0%	62.4%
	応 用 化 学 課 程	1,075	475	600	785	653	694
					73.0%	60.7%	64.6%
	電 子 シ ス テ ム 工 学 課 程	1,175	475	700	915	714	763
					77.9%	60.8%	64.9%
	情 報 工 学 課 程	1,175	475	700	872	726	769
					74.2%	61.8%	65.4%
	機 械 工 学 課 程	1,175	475	700	912	722	762
					77.6%	61.4%	64.9%
	デ ザ イン ・ 建 築 学 課 程	1,025	425	600	794	636	677
					77.5%	62.0%	66.0%

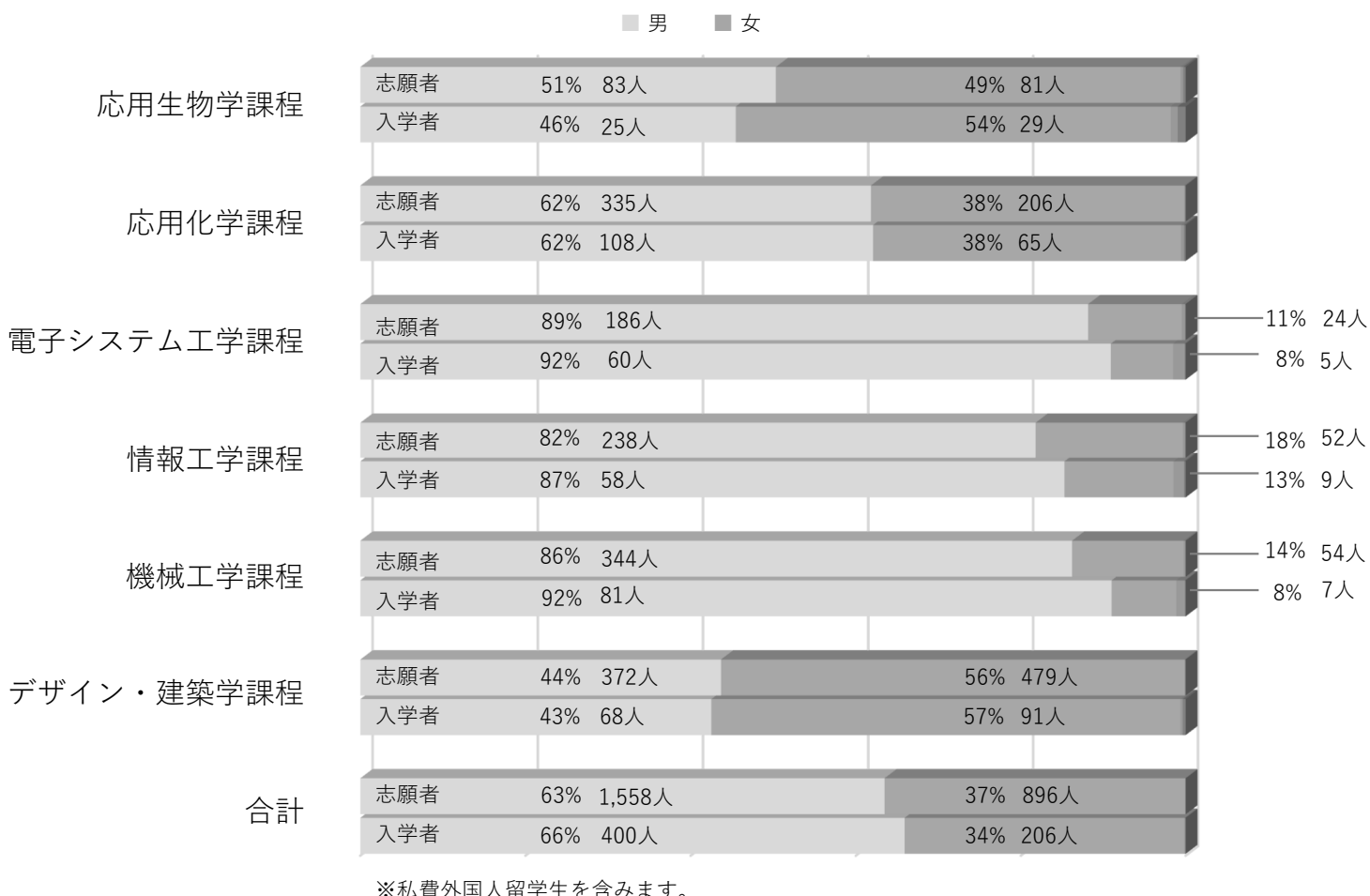
<参考資料>

大学入学共通テスト		個別テスト等	
最低点	平均点	最低点	平均点
258	293	414	471
60.7%	68.9%	51.8%	58.9%
274	326	304	368
57.7%	68.6%	50.7%	61.3%
270	329	383	433
56.8%	69.3%	54.7%	61.9%
302	343	375	425
63.6%	72.2%	53.6%	60.7%
295	330	375	431
62.1%	69.5%	53.6%	61.6%
246	305	320	372
57.9%	71.8%	53.3%	62.0%

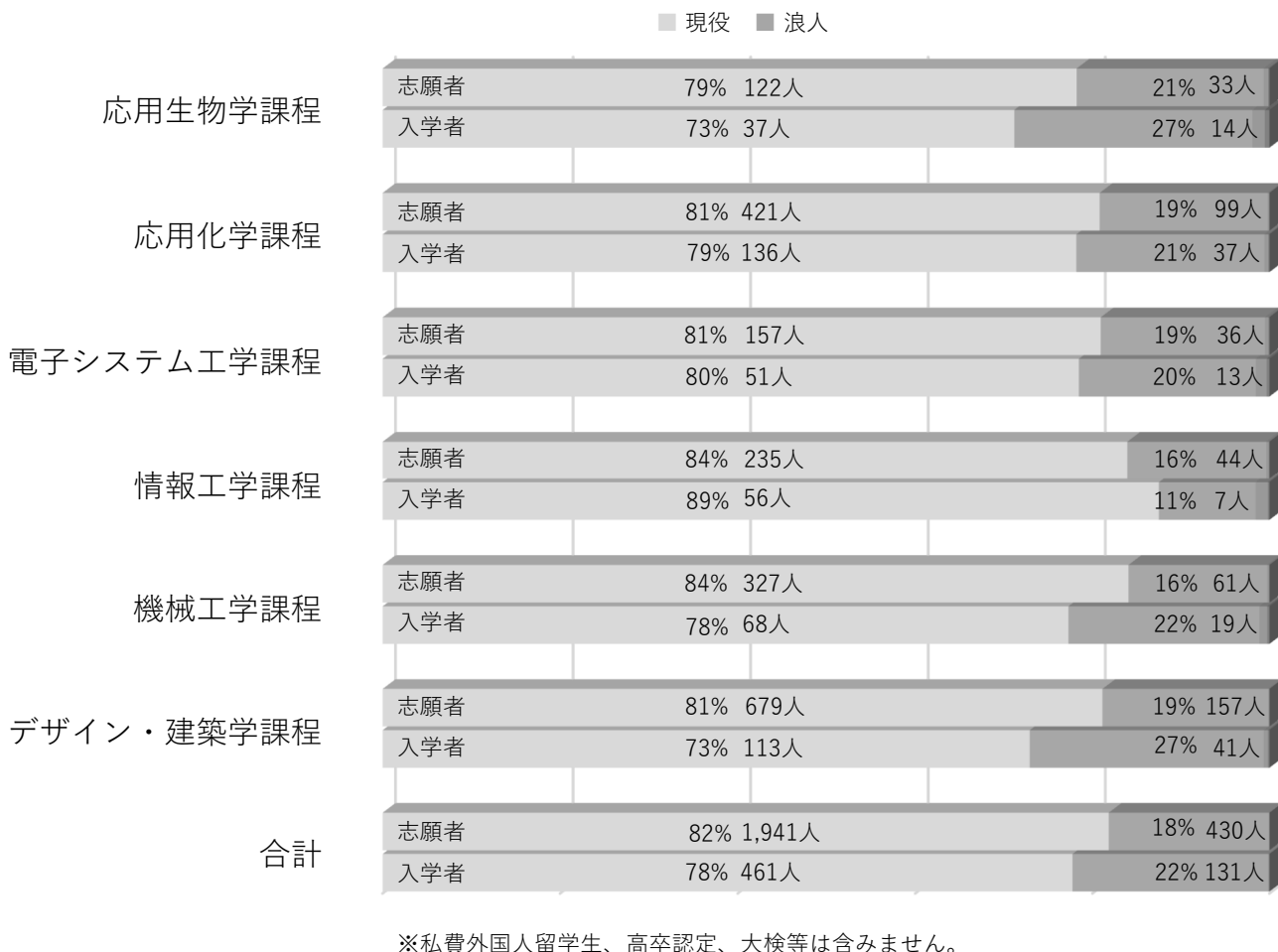
注1. 上記点数は、小数点以下は切り捨てて表示しています。

注2. 上記点数には、追加合格者のものを含まません。

●志願者・入学者の男女比（％）



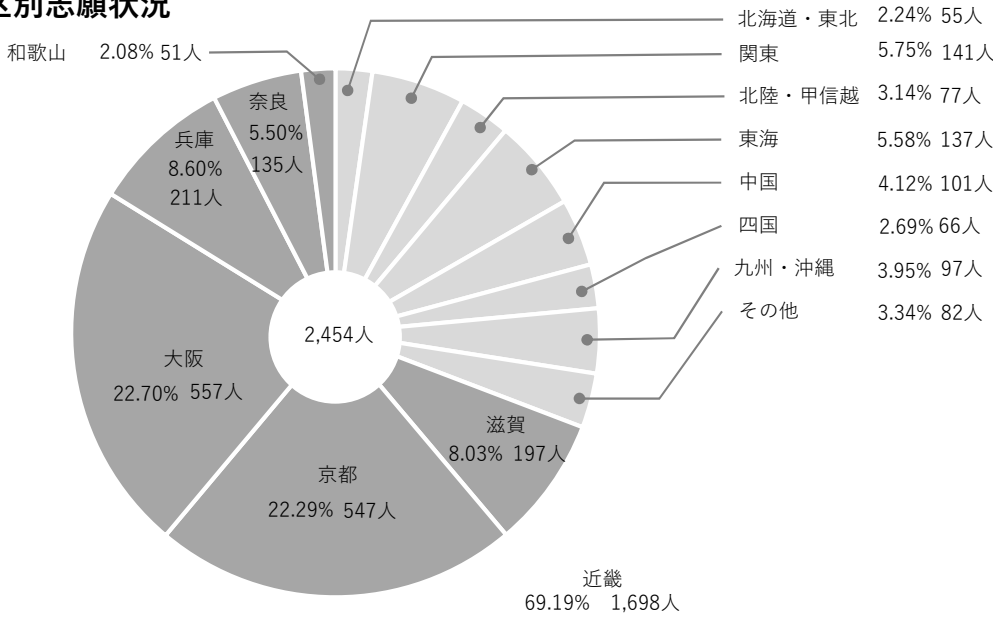
●志願者・入学者の現浪比（％）



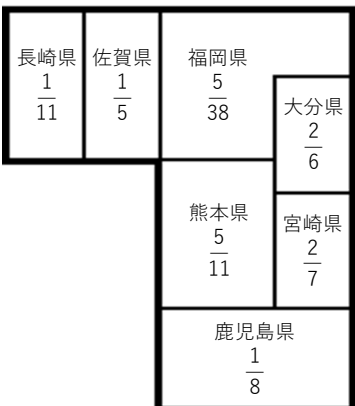
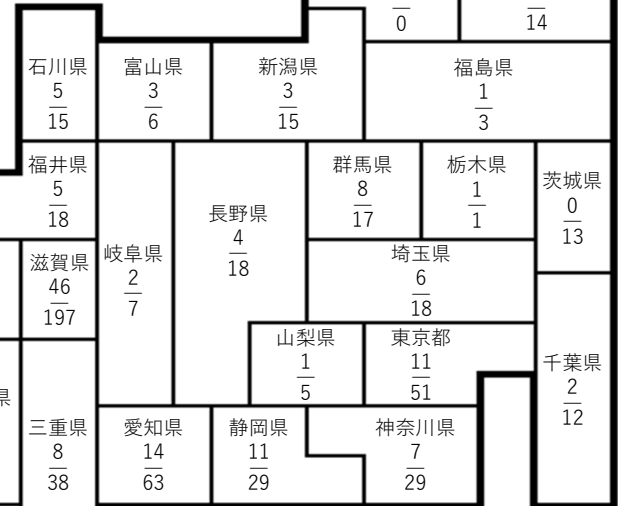
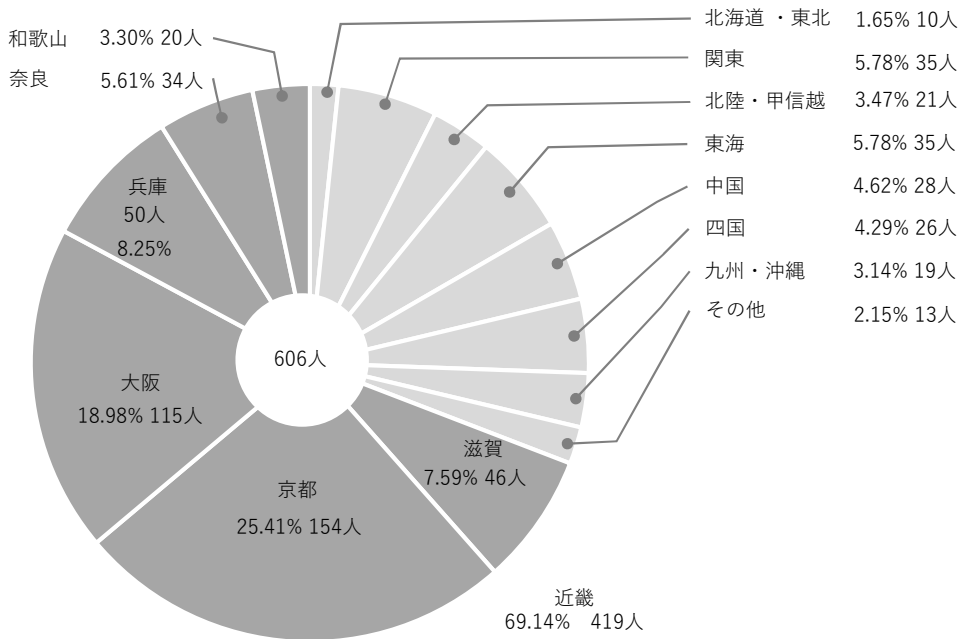
試験区分ごとの詳細なデータはこちら
https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/past-s/

●地区別志願・入学状況

地区別志願状況



地区別入学状況



上段：入学者数
 下段：志願者数

※国費留学生、政府派遣留学生は含みません。

各種情報

●課程

教育内容について

各課程の教育内容等については、大学案内やホームページを確認してください。

URL : https://www.kit.ac.jp/edu_index/school-science-and-technology-color/

本学YouTube公式チャンネルには、大学や研究室紹介の動画、オープンキャンパスにおける各課程の説明や学生体験談の動画などを掲載しています。

URL : <https://www.youtube.com/channel/UCCdmLiQsRJoLzGd2RNAzR1A>



電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程の違い

(ロボットに興味があるとして)

ロボットは技術の集積です。その中でセンサー素子・回路設計に関しては電子システム工学課程であり、知能制御・画像認識・アルゴリズム・学習については情報工学課程です。ロボットの運動や機械的な仕組みに興味があるのなら、機構メカニズム・機械力学・システム制御工学・材料力学などが学べる機械工学課程です。

入学後の転課程について

本学には転課程の制度はありません。

課程を変更したい場合は、入学試験を受験のうえ、3年次に編入、または再度1年次に入学する必要があります。

●京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科

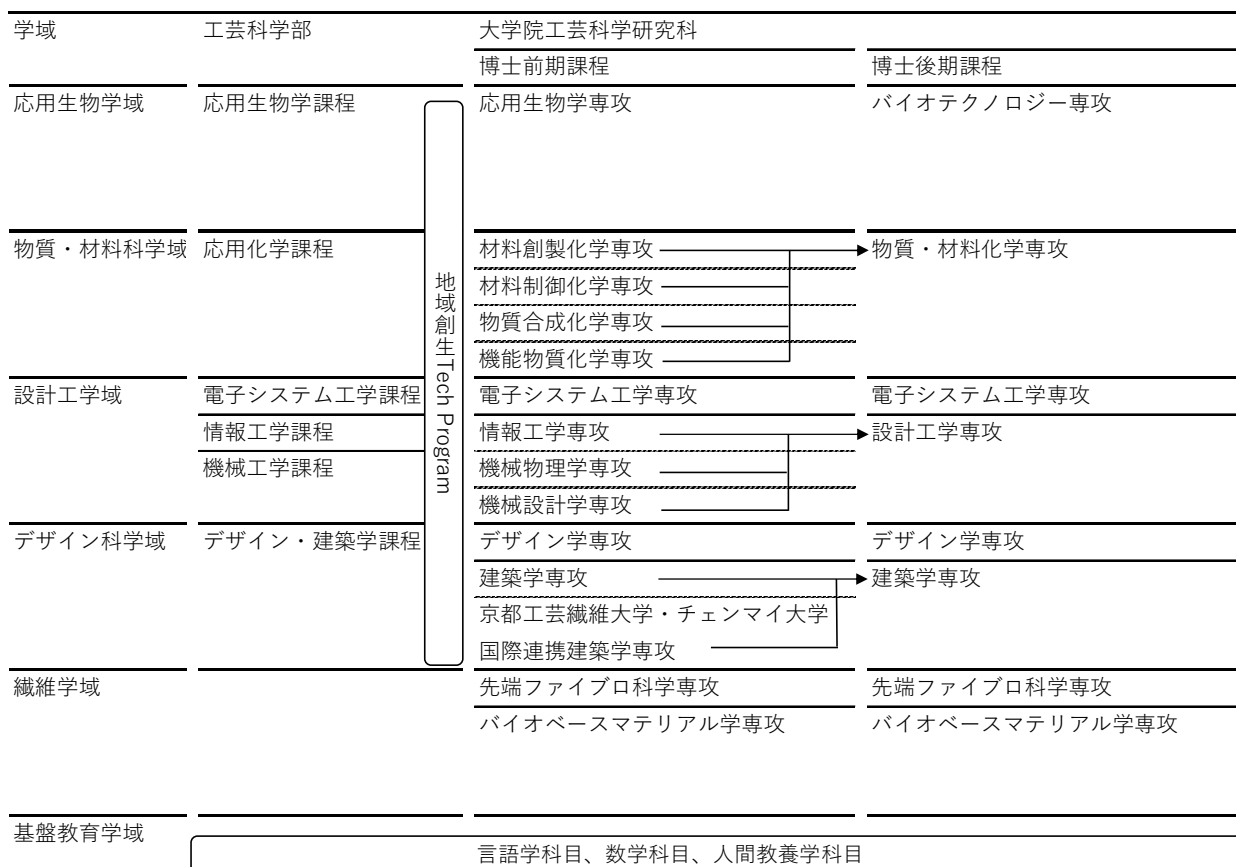
大学院には、14専攻からなる標準2年間の博士前期課程(修士課程)、8専攻からなる標準3年間の博士後期課程を設けています。大学院では、学部で身につけた専門力をベースに、さらに高度な科学技術専門力の修得により、本学が担う科学技術の各分野の最先端で活躍できる、「知・美・技」を併せ持った高度専門技術者・研究者の養成を行っています。

各専攻の教育内容等については、ホームページを確認してください。

URL : https://www.kit.ac.jp/edu_index/sg-science-and-technology-color/



組織図



●卒業生・修了生の進路

京都工芸繊維大学で高度な専門性を身につけた卒業生、修了生が社会のさまざまなフィールドで活躍しています。

卒業生・修了生の進路についてのデータは、ホームページに掲載しています。

URL：https://www.kit.ac.jp/career_index/situation/



主な就職先（ホームページから抜粋）

<p>応用生物学専攻</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒガシマル醤油（食料品） 日華化学（化学） タカラバイオ（化学） 大塚製薬（医薬品） 味の素（食品） 日本農薬株式会社（農薬） 第一三共バイオテック（医薬品） 日清オイリオグループ（食品） オムロン株式会社（電気機器） 	<p>材料創製化学専攻 材料制御化学専攻 物質合成化学専攻 機能物質化学専攻</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本触媒（化学） 積水化学工業（化学） 東レ（繊維製品） 村田製作所（電気機器） ENEOS株式会社（石油化学） 株式会社GSユアサ（電気機器） ダイキン工業（機械） 富士フイルム（化学） ローム株式会社（電子部品） 	<p>電子システム工学専攻（修士課程）</p> <ul style="list-style-type: none"> 島津製作所（精密機器） 三菱電機（電気機器） 住友電気工業（非鉄金属） 関西電力（電気・ガス業） 川崎重工業（重工業） 日産自動車（輸送用機器） 任天堂（サービス） ダイキン工業（機械） トヨタ自動車（輸送用機器）
<p>情報工学専攻</p> <ul style="list-style-type: none"> ソニー（電気機器） パナソニック（電気機器） 日立製作所（電気機器） NTTドコモ（情報・通信業） NTT西日本（情報・通信業） シャープ（電気機器） キヤノン株式会社（精密機器） KDDI株式会社（電気通信業） 任天堂（サービス） 	<p>機械物理学専攻 機械設計学専攻</p> <ul style="list-style-type: none"> 川崎重工業（重工業） 本田技研（輸送用機器） ヤマハ（その他製品） 三菱電機（電気機器） 東芝（電気機器） クボタ（機械） マツダ（輸送用機器） 日立製作所（電気機器） デンソー（輸送用機器） 	<p>デザイン学専攻（修士課程）</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士通（電気機器） シャープ（電気機器） 電通（広告代理店） LINEヤフー（通信業） その他デザイン事務所 <p>建築学専攻（修士課程）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大林組（建設） 大和ハウス（建設） 三菱地所（不動産） 住友林業（建設） その他建築設計事務所

●取得できる資格

本学が特に定める教育課程を履修することによって取得することのできる資格等は、ホームページに掲載しています。

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/capacity/



なお、地域創生Tech Programの学生については、資格等によっては、上位年次に配当されている科目を3年次前学期までに履修すること、3年次後学期以降も松ヶ崎キャンパスで開講される科目を受講することが必要な場合があります。

●過去の入試問題

過去の入試の試験問題は、ホームページに掲載しています。

URL：https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/past-q/



●大学を知るためのイベント等

大学の見学について

大学の敷地内は自由に見学することができます。ただし、講義室や研究室等への入室はご遠慮ください。また、事務室の開室時間（原則として平日の9時～12時、13時～17時）であれば、入試課窓口にて、大学の概要や入試制度について説明します。

進学ガイダンスについて

入試広報活動として、各地で開催される進学ガイダンスにブース参加、資料参加を行っています。参加ガイダンスの一覧は、ホームページに掲載しています。

URL：<https://ac.web.kit.ac.jp/02/nyushi/gakubu/guidance.pdf>



オープンキャンパスについて

例年8月上旬頃にオープンキャンパスを実施しています。
過去の開催状況や今後の予定は、ホームページに掲載しています。
URL：<https://www.kit.ac.jp/ouw-index/>



その他大学を知るためのイベントについて

一部の課程では、例年7月下旬から8月上旬にかけて1日体験入学を実施しています。（事前申込制で定員が限られており、対象が小中学生のものもあります）

また、デザイン・建築学課程では、例年2月中旬頃に卒業制作展を実施しており、各学生の集大成ともいえる作品等を一般公開しています。デザイン・建築学課程を目指す方にとっては、どんなことが学べるかの参考となります。

その他、学園祭（松ヶ崎祭）など大学の雰囲気を感じられる各種イベントを実施しています。
これらのイベント情報の詳細は、決定次第、順次ホームページに掲載されます。

● 学生生活

入学料・授業料について

(2026年現在)	入学料	授業料（年額）
学部・大学院	282,000円	535,800円

在学中に授業料の改訂が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます

授業料免除や奨学金等の制度について

経済的理由によって学業に支障をきたすことのないよう、以下のような制度を設けて在学生の便宜を図っています。詳細はホームページを確認してください。

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/



- 高等教育の就学支援新制度（授業料等減免及び日本学生支援機構給付奨学金）
- 入学料・授業料の徴収猶予制度
- 奨学金
- 京都工芸繊維大学特待生制度
- 学生教育研究災害傷害保険制度

他大学との単位互換制度について

本学では同志社大学、京都府立大学、京都教育大学と単位互換交流協定を締結しています。

また、大学コンソーシアム京都の単位互換制度を利用して、京都地域を中心に約45の大学・短期大学から学生の幅広い関心と興味に応じて提供されている、文化、芸術、政治、経済、自然科学などほぼ全学問分野にわたる科目を履修することができます。

学習用ノートパソコンの必携について

本学の教育プログラムは、教育のDX化を推進する観点から学生がノートパソコンを利用できることを前提として実施されます。入学後は、授業等でノートパソコンを利用する機会が多くなりますので、各自でノートパソコンを準備していただくことになります。

詳細はホームページを確認してください。

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/notepc/



国際交流について

本学の国際交流や海外留学に関する情報を、ホームページに掲載しています。

URL：https://www.kit.ac.jp/international_index/



大学の施設について

- KIT HOUSE
1階には食堂、2階には書籍や食品が購入できる売店があります。
- 附属図書館
約43万冊の書籍と約5,600タイトルに及ぶ雑誌を所蔵しています。
インターネットを利用した電子ジャーナル・データベースへのアクセスも可能です。
- 美術工芸資料館
本学前身のひとつ京都高等工芸学校時代から収集された資料は、絵画・ポスター・陶磁器・染織・漆芸・考古・風俗・建築図面など多方面にわたります。年間を通じて、各種展覧会も開催しています。
- KYOTO Design Lab
学生が自由に使用できる設備としてデザインファクトリーが設置されており、さまざまな分野の学生が参加する領域横断型プロジェクトの拠点となっています。

住まいについて

学生寮はありませんが、松ヶ崎キャンパスの西側に隣接する敷地に、民間事業者が管理・運営する「松ヶ崎学生館」があります。「松ヶ崎学生館」は、本学学生や提携大学の留学生等が入居することができる個室タイプの居住用施設です。詳細はホームページを確認してください。

URL : https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/



課外活動

本学では、体育系・文科系ともに数多くのクラブ・サークルが活動しています。詳細は、ホームページを確認してください。

URL : https://www.kit.ac.jp/campus_index/extracurricular-activities/



学生と教員の共同プロジェクト

学内外でのイベントや出展に向けて、学生と教員が協力し、ものづくり教育プロジェクトやボランティア活動、地域活動に関するプロジェクトを実施しています。

中には学外の大会において4年連続で優勝しているプロジェクトもあります。

活動しているプロジェクトなどの詳細はホームページを確認してください。

URL : https://www.kit.ac.jp/campus_index/joint-project/

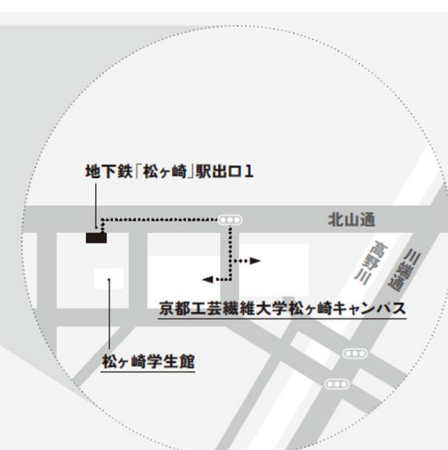
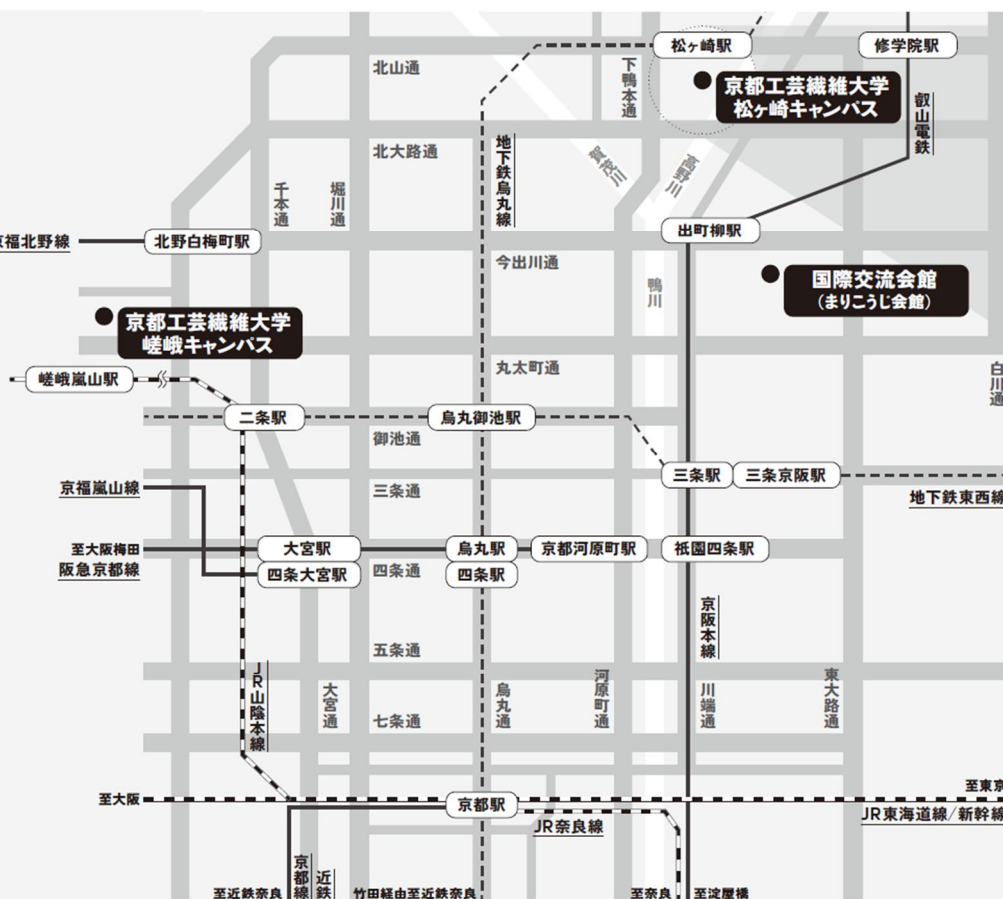


令和9年度入試日程表（令和9年4月入学者用）

※必ず、学生募集要項・ホームページ等で最新の情報を確認してください。

入試種別	募集要項掲載開始	出願受付期間	試験実施日	合格者発表
3年次編入学試験	掲載中	5月7日(木)～5月13日(水)	推薦：6月6日(土) 一般：6月27日(土)	推薦：6月17日(水) 一般：7月15日(水)
私費外国人留学生入試	掲載中	7月28日(火)～8月3日(月)	8月25日(火)	9月2日(水)
ダビンチ入試 (総合型選抜)	6月下旬	9月1日(火)～9月8日(火)	1次：10月3日(土) 最終：11月7日(土)	1次：10月21日(水) 最終：11月18日(水)
大学入学共通テスト			1月16日(土)・17日(日)	
学校推薦型選抜	7月下旬	1月20日(水)～1月27日(水)	-	2月10日(水)
一般選抜	9月下旬	1月25日(月)～2月3日(水)	前期：2月25日(木)・26日(金)	3月10日(水)

京都工芸繊維大学（松ヶ崎キャンパス）への交通案内



- ▶ 地下鉄烏丸線「松ヶ崎」駅より徒歩8分。
(出口1から東(右)へ進み4つ目の信号を南へ180m)
- ▶ 「松ヶ崎」駅へはJR・近鉄「京都」駅から地下鉄烏丸線「国際会館行き」に乗り換え約18分。
(地下鉄烏丸線は、阪急「烏丸」駅からも乗り換え可能です。)

